

## 稲城市無電柱化推進計画(素案) ご意見と市の考え方について

意見募集期間：令和5年3月8日(水)～3月22日(水)

意見提出方法：直接持参、郵送、ファクス、申し込みフォーム(インターネット)

意見提出人数：9名(9件)

※ご提出いただいたご意見について、個人が特定される恐れのある情報は加工しておりますのでご了承ください。

ページ	行	記載内容	ご意見	市の考え方
1			鶴川街道(稲城大橋下新田交差点～川崎街道に突き当たる道)の無電柱化を優先して実施してもらいたいです。道路が極めて狭いうえに歩道もとても狭く、電柱が歩行者や自転車、ひいては車の通行の妨げになっているので、無電柱化していただくと通りやすい道になると思います。	当該道路は「都道」となり、東京都においては、計画幅員で完成した歩道幅員2.5m以上の都道は2040年代の完了を目指すとしております。 状況としては、ご意見のとおり、歩道が狭いなど、歩行者等の安全確保の観点からも課題がある道路であることから、無電柱化を含めた道路改修等を東京都に依頼してまいります。
2			無電柱化に賛成。景観、道路等土地の有効利用、耐久性、地震時の2次被害の防止等の観点から、予算的な問題がクリアになる場合、推進していただきたい。	賛成のご意見ありがとうございます。 無電柱化については課題でも示しているとおおり、整備コストが高いことが挙げられます。 まずは、無電柱化優先整備路線において積極的に整備を進めてまいります。国や東京都の低コスト化に向けた取組を注視し、低コスト手法の活用を検討して、無電柱化の推進に繋げることができればと考えています。
3			南山エリアは無電柱で開発すると聞いていたにも関わらず、通常の電柱となり残念。景観や保守の観点からも無電柱化してほしい。	南山東部地区では、土地区画整理事業が進められており、無電柱化については、東京都の補助金等を活用しながら、可能な範囲で都市計画道路以外の区画道路においても整備を進めております。 南山東部地区で無電柱化される区画道路については、18ページの無電柱化計画路線図に示しています。
4			次の観点から無電柱化を推進します。1.地震などの災害時による倒壊の未然防止。2.通行時における障害物としてのリスク排除。	防災、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等の観点から、無電柱化が必要な道路において推進してまいります。
5			無電柱化は一刻も早く進めて欲しい。景観もそうだが、それより、鳥の糞害に困っている。車のボディにしょっちゅう糞をされ、困っている。	防災、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等の観点から、無電柱化が必要な道路において推進してまいります。
6			稲城市の「弁天通り商店街」の電柱を、早く無電柱にして下さい。道幅も狭いのに、近くに小学校・幼稚園があり、歩行者や自転車、バイク、対向車を避けながら車で通るのは大変。事故を起こしたくありません。	無電柱化については課題でも示しているとおおり、整備コストが高いことが挙げられます。 まずは、基本方針に基づき抽出した電柱化優先整備路の推進や、無電柱化検討路線の事業化の検討を行いたいと考えています。 それと並行して、国や東京都の低コスト化に向けた取組を注視し、低コスト手法の活用を検討するとともに、地上機器の設置場所の課題の検討も含め、無電柱化の推進を研究してまいります。
7			住宅が密集する既存住宅街での無電柱化は現在のところ特段計画されていないようですが、以下の理由から、長期的にでも計画に組み込んで頂きたいと思えます。車がやっとすれ違うことの出来るような、歩道も設置されていない狭い道路では、電柱を避けるために歩行者が車道に大きく出て来ざるを得ず、車はその歩行者を避けるために右側に寄ると、対向車と衝突する危険性が高くなります。電柱がなければ、歩行者も自動車もより安全に通行できます。また、近年地球温暖化の影響により気象現象のエネルギーが格段に高まり、その為、台風や低気圧の通過時にはこれまでよりも遙かに強い風が吹くようになってきました。こうした中、以前では考慮する必要のなかった様な災害が発生する確率が高くなり、強風の直接的間接的原因による電線の断線や、電柱の転倒等もあり得ないこととは言えなくなっております。この点からも、既存の住宅密集地での無電柱化を、予算的な問題から短期中期的には無理でも、長期的に視野に入れた計画を作成して頂きたいと思えます。	無電柱化については課題でも示しているとおおり、整備コストが高いことが挙げられます。 まずは、基本方針に基づき抽出した電柱化優先整備路の推進や、無電柱化検討路線の事業化の検討を行いたいと考えています。 それと並行して、国や東京都の低コスト化に向けた取組を注視し、低コスト手法の活用を検討するとともに、地上機器の設置場所の課題の検討も含め、無電柱化の推進を研究してまいります。

8		<p>坂浜地区で無電柱の計画があるようですが、坂浜は1980年代頃は森林ばかりで、今も住宅が完全に多く作られていないので、無電柱にするのは費用対効果が不明です。無電柱の効果は主に2つだと思います。①観光や景観が良い→現在の坂浜地区の景観が宅地造成されている点で良いのか不明です。②防災や交通安全上良い→これは人が多く住んでいたり、交通量で決まると思います。昨年の夏に平尾2丁目だけ台風で停電になりました。この平尾2丁目には電柱のすぐ横に不安定な大きな木があり、これも広域停電の原因だと思えます。まずは災害が起きた場所を調査し、無電柱にするかを分析されては、いかがでしょうか？また坂浜の道幅は狭いとは思えません。観光上であれば、都内で唯一な平尾入定塚や木曾馬はなちゃん牧場や稲荷神社や緑地あたりから無電柱にした方が良いと思います。人が見ない場所からコストをかけるのではなく、広告的にも宣伝効果が高い方法を取った方が良いです。平尾は稲城市の中では多い1万人も住み、観光上も新百合ヶ丘の近くという通行が多い場所です。新百合ヶ丘はお洒落で人気な地ですので、そこから流入する可能性もあります。坂浜や若葉台はこういう点は弱いです。無電柱のコスト削減方法として、軒下や屋根下の線を配置させてもらう方法があります。これも既存の住宅が多い方が、コストは下げられます。更に平尾団地の新築化計画もあると思いますので、埋めるというよりも、建物内に配置できる方法を検討してみると良いと思います。こういう技術が存在するのは不明ですが、エアコンの室外機のケーブルなどを囲む、丸い管のようなものに電線を入れられませんか？埋めると相当コストや手間がかかると思えます。「光ファイバーなどと一緒に」という案も過去にネットで見かけましたが、これだと集中しすぎてなにかの拍子に衝突したら複数の停電事故が起きるので、分散配置した方が安全だと思います。また無電柱とは別の話となりますが、平尾の入定塚公園にある電線の大鉄塔ですが、入定塚公園の公園名の看板にも暴走族な落書きや違法駐車があるので悪戯をし、広域停電などを引き起こす危険もあるので、「防犯カメラ作動中」と表示の大きな看板を設置できないでしょうか？このように史跡や公園などで観光誘致や防災・防犯などの総合的な都市計画を見直してください。</p>	<p>本計画では、都市防災機能の強化、安全で快適な歩行空間の確保、良好な都市景観の創出・維持の3つの基本方針を掲げております。</p> <p>防災の観点では、災害時における安全な避難や救急活動の円滑化を視野に入れ、緊急輸送道路の無電柱化だけでなく、避難道路においても中長期的に検討することとしています。</p> <p>無電柱化の手法については、ご意見のとおり電線共同溝方式以外に軒下配線や裏配線方式もございますので、事業を進める際は、地域の特性に応じた方式を検討します。</p>
9		<p>私の家は木造2階建てで、2階の寝室の窓から手が届きそうなほど電線が近い。電気消費量の多い季節、時間帯ではかなり強い電磁波が出ている。景観だけでなく、健康被害についても考慮して電線の地中化を進めて頂きたい。</p>	<p>市としましては、防災、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等の観点から、無電柱化が必要な道路において推進してまいります。</p>